

第 56 回芸術祭

2019 年 11 月 3 日、4 日

中目黒・代官山キャンパスで開催されたはじめての芸術祭。大盛況のうちに幕を閉じました。

写真とともに参加者の方、演奏した学生たち、芸祭実行委員の感想をご紹介します。



来場者の ご感想

「ママ友から情報を知りました。子どもはまだ 2 歳ですが、クラシックコンサートやブラスに連れていくと喜ぶので、はじめて遊びに来ました。学生の歌や現代風の曲も聴けてかっこいいし楽しい。オケを聴くのも楽しみです」 (30 代女性)

「姪が在学していますが、はじめて来ました。校舎がきれいでびっくりしています。学生らしいいろんな子の演奏が聴けてうれしい。ご飯もおいしいです」 (50 代女性)

（『導かれし管弦楽団』を聴いて）「ドラゴンクエストが好きでよくやっていました。ゲーム音楽を生のおーケストラ演奏で初めて聴けて懐かしさと共にあつという間に感じました。学生の若い迫力がすばらしかった」（30代女性）

「いろいろな大学のメンバーで、とてもがんばっていたことが伝わるすてきなコンサートでした。来年も是非コンサートを開いてください」

（『プレミアムオーケストラ AMERICA』を聴いて）「『新世界』を何度も聴いたことがありますが、これまで一番！プロのオーケストラよりも上手だった。情感、迫力、エネルギー、どれを取ってもすばらしく、ドヴォルザークがそこにいるようだった」（60代男性）

（『プレミアムオーケストラ AMERICA』を聴いて）「ダイナミック。ホールもよくて音の調和が大変よく、緩急の付け方など迫力がありました。当日券で家族とともに聴けて大満足です」（30代女性）

「学生のすばらしくみずみずしいエネルギーをもらったような気がします。来てよかった！うれしくて走って帰りたい気分です。娘を東京音楽大学に入学させて本当によかったと思いました」（50代女性）

（『Serena』を聴いて）「映画音楽やオペラ、ミュージカルまでジャンルが幅広く、飽きずに聴けてとてもよかったです。出演者は全員が1年生なのに頑張っていてうるっときました。曲によって歌手が交代する演習もよく、ドレスも綺麗でした。」（60代女性）

（『Serena』を聴いて）「息子が東京音大生だったので芸術祭には何度か来たことがあります。懐かしい気持ちになったのと、今の在学生がとても可愛く感じました。また自分も音大出身なので、音大生を応援したい気持ちになりました。自分たちが学生だった頃はドレスの色は白か黒と決まっていたので、カラフルなドレスがすてきで可愛かったです。」（60代女性）

（『Baby Five』を聴いて）「以前の芸術祭で聴いた、公式企画の演奏会がとてもよかったので来ました。最後の『荒城の月』が特に良かったです。こういうアレンジもあるんだな、とジーンとききました。若者が喜びそうなアレンジでいいと思います。」（女性）

（『Baby Five』を聴いて）「以前から芸術祭には何度か訪れています。普段はクラシックしか聴かないので、ポップスは新鮮で良かったです。特に『荒城の月』が良かったです。中目黒・代官山キャンパスはクリエイティブなキャンパスで、期待しています。」（男性）

（『お楽しみステージ』のバンド演奏を聴いて）「友だちが東京音大に通っているので来ました。音大といえばクラシック、という真面目なイメージでしたが、バンド演奏を聴いて印象が変わりました。編成にヴァイオリンも入っていて、音大らしさもあり良かったです。」（20代女性）

（『Ensemble Modern Antiqui』の演奏を聴いて）「家族が出演するので来ました。バロックは聴く機会が中々ないので、聴けて良かったです。後半になるにつれて楽器編成が徐々に厚くなっていくのも良かったし、フルートの演奏もすてきでした。」（女性グループ）

（『FILM ORCHESTRA』を聴いて）「響きがよくてうらやましくなりました。近所の方などもっと来ていただいたらよいなと感じました。」（卒業生）

（中庭で食事中を取材）「はじめて来ました。こんなきれいな環境で学ぶことができていると感じました。今日は音楽を楽しみたいと思います。」（近隣の子ども連れのお母さん）

（『ふえふえ』を聴いて）近くに住んでいますが生の演奏を聴くことができ感動しました。ディズニーメロレーのような聴き慣れた曲でも、実際の生音で聴けると違って聴こえました。（近隣の親子連れ）



学生の感想

ジョエワール（2台ピアノ演奏）

私たちは附属高校でのアンサンブルの授業がきっかけでペアを組み、3年間毎年2人で演奏をしてきました。大学生になり弾く機会がない中、「また2人で演奏がしたい!」という思いがつのり、今回2年ぶりの演奏となりました。アンサンブル室はとても響きがよく、ホールのような感覚で気持ちよく弾くことができました。また、2人で演奏する楽しさを久しぶりに味わうことができました。

想像以上に多くのお客様にご来場いただき、無事に終演いたしました。綺麗な新校舎で演奏できたこと、とてもうれしく思います。また「二人でアンサンブルをしたい」と思える時間でした。

（藤野 奏・阪 真希）

芸術祭実行委員

造形部署です。芸祭委員は楽しいのでみなさんも一緒にやりましょう！

（パンフレットを販売していた小長谷未夏さん3年クラリネット、菊地力也さん2年ホルン）





















©東京音楽大学



©東京音楽大学









©東京音楽大学



©東京音楽大学









©東京音楽大学



©東京音楽大学



















